

火打山 山スキー報告

【期 日】 5月2日(火)～ 4日(土)

【山 域】 新潟県 火打山、三田原山

【コース】

5/2 快晴、強風 鶴田家 2:10-池田家 2:30-PC デポ 3:10-石橋家 3:30-笹ヶ峰 9:10—十二曲り—富士見平—高谷池ヒュッテ 15:10 【距離 5.7km 累計高度 872m】

5/3 快晴、風あり ヒュッテ 7:40—火打山山頂—沢の源頭 2000m—ヒュッテで昼食 13:00—茶臼山と黒沢岳のコー—黒沢岳山頂—黒沢池—ヒュッテ 15:40【距離 8.8km 累計高度±804m】

5/4 快晴 無風 ヒュッテ 7:45—黒沢池—三田原山山頂—涸沢(滑降)—笹ヶ峰 14:30
【距離 6.9km 累計高度+458m、-1227m】

【参加者】 CL 池田(継)、SL 石橋、鶴田、井上(里)、瀧瀬、飯郷(会員外)、加藤(記録)

【報告】

5/2 十連休にもかかわらず、渋滞なし。笹ヶ峰から豊富な雪に恵まれ、黒沢の橋には雪は消えかかっていた。



黒沢の橋



十二曲がり上の細尾根

十二曲りは短い急斜面でちば山レジェンド T さんと K は途中で転び体制を立て直すのに苦労した。その上の細尾根ではザックにスキーを付け先行の登山者がトレースを辿った。傾斜が緩むと富士見平。ここで初めて澄み切った青空に焼山と火打山を臨むことができた。強風だったが、大休止。

黒沢岳西側をトラバースすると今宵の宿、高谷池ヒュッテの三角屋根が見えてきた。



富士見平



焼山(右に噴煙)

ヒュッテは素泊まり、CL I さんが用意してくださったアルファ米、スープ、入山前に摘んだフキノトウとビール(300 円)で乾杯した。



5/3 今日も快晴。ほぼ夏道通りに進む。ハイマツが出ている肩（雷鳥平付近）を過ぎ、いよいよ火打山の急登を登って行く。山頂は雪が風で飛ばされ地面が出ている。



いよいよ滑降である。フィルムクラストして雪面が光っている。肩まで慎重に降り、南側の沢の源頭を目指して滑り込む。斜面は凹凸もなく気持ちが良い。



2000mまで下降しし、天狗の庭を経て小屋に戻って昼食、休憩。午後がSL IさんとTaさんは小屋で休養し。会員外のIさんは大蔵乗越へ、あとの4人は反対側の黒沢岳に向かった。茶臼山と黒沢岳のコルから雪庇のある尾根を進み、黒沢岳山頂を越えて南東側の緩い尾根を滑り、黒沢池を横断してヒュッテへ戻った。

夕方、風も止み、焼山山頂に沈む太陽「ダイヤモンド焼山」、赤く染まる高妻山、乙妻山、さらには消灯後の満天の星空も鑑賞した。



5/4 ヒュッテの外に出ると北アルプスが全て見渡せる。



ちば山レジェンドと妙高山



暖かくTシャツでも良いくらい。当初の予定のサクラ谷のルートは雪が割れているとのことで、三田原山のルートに変更した。黒沢池を横断し、木のまばらな斜面を目指して登る。黒い妙高山が姿を現すと稜線である。雪庇が張り出した尾根を端に寄りすぎないように進むと360度の景観の三田原山山頂である。ここで大休止。さらにピークを2つ越えると沢状の地形が現れ、下降点の涸沢である。周囲には他のスキーヤーも寛いでいた。

いよいよ滑降である。最初は涸沢の中心部を軽快に滑り、下部では両脇の台地状のところを、木やツリーホールに気をつけて滑り降りた。途中滝が出てきたが、難なくクリアーし笹ヶ峰に通じる車道に辿り着いた。

笹ヶ峰まではCL I

さん、会員外のIさんが車を取りに行ってくださり、帰路、フキノトウを摘み、苗名の湯で汗を流し、千葉に戻った。天候にも恵まれ、とても印象に残った3日間であった。



楽しい林間コース